

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	行政や地域との距離が遠く、関わりが薄い。運営推進会議では、事業報告をするのみで終わってしまい、運営推進会議を活かした取り組みが出来ていない。	耀きの里を知ってもらおう。(PRをする)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での参加者を増やし、会議内容も食事の試食や、ミニ勉強会、行事の参加など耀きの里での生活や取り組みを知ってもらう。 ・自治会の行事は管理者だけではなく、職員や利用者様も参加をする。 ・日頃、たくさんの製作した作品があるので、市役所、公民館、銀行などに展示物の依頼し、利用者様と持って行く。 ・幼稚園だけではなく、保育園や小学校にも交流の幅を広げる。 ・可児市内のサロンなどに積極的に参加する。 	12 か月
2	35	年に2回の防災訓練を行っているが、災害といっても地震や火災ばかりではなく、様々な災害を想定した訓練や具体策がない。	様々な災害を想定した訓練を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の総合訓練以外にも、水が使えなくなった場合を想定した訓練や、非常食を作る訓練、緊急時の連絡の訓練、など考えられる訓練に取り組んで行く。 ・可児市の水防訓練、防災訓練は、職員と利用者様が一緒に参加をする。 ・運営推進会議でも災害について話し合いを行い、助言を頂き、協力体制を築く。 	12 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。